

編集後記：「世の中に絶えて桜のなかりせば 春の心はのどけからまし」とは、新古今和歌集にある在原業平の歌です。桜の有無にかかわらず、年度が変わるこの時期は会員の皆さんは長閑な心境とは遠いところにあることでしょう。

桜といえば楽しみは、弁当やお酒を片手に出かける花見です。毎年3月になると開花予想が発表され、周囲はその話題でもちきりになります。この花見ですが、もともと娯楽や遊びではなく、花の咲き具合によってその年の作柄を占い、豊作を予祝するための農耕儀礼だったそうです。昔は開花時期とは天候を占うための予測因子だった訳ですが、それが予測される側になったというのは、今が“団子（収穫）より花”の食うに困らない豊かな時代であることの現れでしょうか。開花予想は、防災情報が中心の気象庁の情報の中では異質ですが、大切な業務の1つだと思います。

各気象台では桜の開花予想の他にも、ご存知のように生物季節観測という名称で、種々の動植物の観測を行っています。いつ頃始まったのか調べてみたところ、明治13年7月に発刊された「気象観測法」に「植物飛

禽気候普通ノ顕象」という項があり、そこに動植物の観測の指針が示されていました（国立国会図書館デジタルアーカイブ：<http://www.dap.ndl.go.jp/home/>からご覧になれます）。自然科学の基本は現象をつぶさに観察し克明に記録することだと思いますが、最近はコンピューターの発達とシミュレーション技術の高度化に伴う観測の軽視化が危惧されています。明治の先人が「気象観測法」の中で気温や気圧にとどまらず、動植物の観測までも業務に取り込んだのは、深い理由があるはずですが、天候に左右されない部屋の中で、日がな一日パソコンに向かって自分が気象の仕事に従事していることを滑稽に思う時があります。さて、鈍磨している感性を取り戻すためにも、春の野山に出かけるとしましょうか。

ちなみに、私が気象庁職員となって地方気象台に赴任し、最初に行ったのは「桜の観測の補助」でした。それ以来、桜の花を見るたびに気象人として出発したその日のことを思い出します。フレッシュな気持ちで「天気」の発刊に努めていきますのでどうぞよろしくお願いします。（上口賢治）

「天気」編集委員会

編集委員長 新野 宏(理事)
 編集委員 里村雄彦(理事)・古川武彦(理事)
 藤部文昭(理事)
 青柳曉典・池田 徹・榎本 剛
 大淵 濟・笠原真吾・勝山健一
 金田昌樹・上口賢治・川島正行
 小出 寛・小林健二・桜井敏之
 佐藤晋介・小司禎教・関山 剛
 高橋 宙・田口晶彦・寺坂義幸
 中西幹郎・中村 尚・新村典子
 林 修吾・平井雅之・別所康太郎
 水野 量・山本 哲

地区編集委員 北海道 伊藤道男・渡部雅浩
 東北 土井雅彦・岡本 創
 関東 岡田憲治・河野耕平
 中部 岡田 京・永尾一平
 関西 松村 哲・堀之内 武
 九州 磯部英彦・中島健介
 沖縄 新里博美
 編集書記 棚橋 公子

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい個人または団体（図書館も含む）は、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている下記の団体から許諾を受けて下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル
 学術著作権協会

Tel : 03-3475-5618, Fax : 03-3475-5619
 E-mail : jaacc@mtd.biglobe.ne.jp

Notice about photocopying

In order to photocopy any article from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052, Japan
 Tel : 81-3-3475-5618, Fax : 81-3-3475-5619
 E-mail : jaacc@mtd.biglobe.ne.jp